



## 中心部の様子

アントワープ市は、首都ブリュッセル市の西約50キロに位置するフランダース地方の中心都市です。石川県金沢市の姉妹都市で、両市はこれまで52年にわたりさまざまな交流を行ってきました。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「アントワープ・フローラリア」は世界的にも有名です。また、アントワープ港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鋼などの産業が発達しました。市内中心部には、教会をはじめ歴史ある建築物や文化遺産が多く存在しています。特に、聖バーフ大聖堂には、初期フランドル絵画の最高傑作と言われる『神秘の子羊』（ヤン・ファン・エイク作）があり、観るものを魅了します。



# 世界の地域から アントワープ市（ベルギー）



## アントワープ祭り

copyright Stad Gent

アントワープ市では、1年を通して多くのイベントが開催されます。アントワープ祭りは、中でも最も有名で、1843年から開催されています。10日間にわたり、音楽、演劇、ダンスなど3,000以上のさまざまな催しが市内中心部で繰り広げられるベルギー最大規模のストリート・フェスティバルです。